

施策マネジメントシート

作成日 平成 29 年 6 月 26 日

施策	09 命を守り安心して暮らせるしくみづくり		
施策 主管課	防災危機管理課	氏名	荻野重行
施策 関係課	市民活動支援課、福祉総務課、健康づくり課、予防課、消防課、管理課、指令課、消防署		

1. 現状把握 Plan→Do

(1) 施策の目的と指標

① 対象 (誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 ◇市民	③ 対象指標名称 (対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない (単位)
	a 笛吹市の人口<山梨県笛吹市住民基本台帳行政区別人口統計表(4月1日現在)> 人
② 意図 (対象をどういう状態に変えるのか) ◇消防・防災・救急医療体制が整っていて、安心して暮らすことができる。 ◇犯罪や交通事故が少なく安全に暮らすことができる。	④ 成果指標名称 (意図の達成度の指標) 数字は記入しない (単位)
	d 消防や救急医療体制が整い安心して暮らせると考えている割合 %
⑤ 成果指標設定の考え方 ◇消防・防災・救急医療体制が整っていて、安心して暮らすことができるかどうかは市民に聞く。 ◇火災から命を守ることに、住宅用火災警報器設置率で判断する。 ◇犯罪抑止効果のある防犯灯の設置基数で判断する。 ◇交通事故発生割合が高い高齢者の交通事故発生件数で判断する。 ◇犯罪抑止効果及び状況証拠となる防犯カメラの設置基数で判断する。	e 住宅用火災警報器設置率(基準日:6月1日) %
	f 防犯灯設置基数 基
	g 高齢者の事故件数(1月~12月) 件
	h 防犯カメラ設置数 基
	⑥ 成果指標の取得方法 ◇まちづくり基礎調査⇒設問「あなたの住んでいる地域は、消防や救急医療体制が整っていて、安心して暮らすことができると考えますか。」 ◇消防庁発表資料(笛吹市消防本部把握) ◇市民活動支援課把握 ◇市民活動支援課把握(笛吹警察署データ) ◇防災危機管理課把握(暴力団関係)

(2) 指標・事業費等の実績推移と目標値

			23年度 実績、決算	24年度 実績、決算	25年度 実績、決算	26年度 実績、決算	27年度 実績、決算	28年度 実績、決算	29年度 最終目標
対象 指標	a 笛吹市の人口<山梨県笛吹市住民基本台帳行政区別人口統計表(4月1日現在)> 人	見込み値	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000
		実績値	72,192	72,145	71,724	71,132	70,749	70,599	
	b	見込み値							
		実績値							
	c	見込み値							
		実績値							
成果 指標	d 消防や救急医療体制が整い安心して暮らせると考えている割合 %	成り行き値	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
		目標値	54.0	55.0	56.0	57.0	58.0	59.0	60.0
		実績値	50.6	47.5	49.5	—	—	—	—
	e 住宅用火災警報器設置率(基準日:6月1日) %	成り行き値	57.0	57.0	57.0	57.0	57.0	57.0	57.0
		目標値	60.0	60.0	61.0	65.0	69.0	72.0	75.0
		実績値	57.0	57.0	57.5	58.0	69.0	70.3	
	f 防犯灯設置基数 基	成り行き値	7,900	8,010	8,010	8,010	8,010	8,010	8,010
		目標値	7,950	8,000	8,060	8,110	8,160	8,210	8,260
		実績値	7,965	8,010	8,070	8,149	8,207	8,394	
	g 高齢者の事故件数(1月~12月) 件	成り行き値	180	171	171	171	171	171	171
		目標値	175	170	165	160	155	150	145
		実績値	133	171	126	127	122	110	
h 防犯カメラ設置数 基	成り行き値			13	13	13	13	13	
	目標値			13	13	13	14	15	
	実績値			13	13	13	14		
施策コスト	事務事業数		本			35	34	31	30
	事業費 (A)		千円	437,275	373,460	788,754	825,505	407,270	515,166
	うち一般財源 (A')		千円	350,359	302,037	333,918	316,354	266,215	327,288
	人件費 (B)		千円	579,332	584,990	570,297	587,977	577,281	771,585
	トータルコスト (A+B) (C)		千円	1,016,607	958,450	1,359,051	1,413,482	984,551	1,286,751
うち一財 (A'+B) (C')		千円	929,691	887,027	904,215	904,331	843,496	1,098,873	0

(3) 施策の目標設定の根拠 (水準の理由と前提条件)

<p>●後期基本計画策定に伴い成り行き値、目標値の再設定を行った。</p> <p>◇消防・防災・救急医療体制が整っていて、安心して暮らすことができると考えている市民の割合:成り行き値は市民の半数を維持することとし、目標値はH21年度実績を基に毎年1ポイントの向上とする。</p> <p>◇住宅用火災報知機設置率:成り行き値はH23年度実績値を設定。目標値は、最終年度に全国平均75%を達成と設定した。</p> <p>◇防犯灯設置基数:成り行き値はH23年度実績値を基に設定。目標値はH23年度実績値を基に毎年50基増で設定。</p> <p>◇交通事故発生件数:成り行き値はH24年度実績値を据え置く。目標値はH24年度実績から毎年5件減少として設定。</p> <p>◇防犯カメラ設置基数:成り行き値はH27年度実績値を基に設定。目標値はH27年度実績値を基に毎年1基増で設定。(H27年度新規)</p>

(4) 施策の役割分担 (住民と行政との役割分担)

<p>ア) 住民の役割 (住民・地域・団体・事業所が、自助・共助でやるべきこと)</p> <p>◇住民…危機管理意識を持ち、犯罪にあわないよう注意する。交通ルールを遵守する。</p> <p>◇地域や団体…交通安全施設の点検、防犯灯の維持管理をする。ご近所見守り・声かけをする。</p> <p>◇医療機関や介護保険施設…事故発生時に備えた医療体制の確保をする。</p> <p>◇住宅用火災警報器…未設置世帯は、速やかに設置する。設置世帯は、作動確認を実施する。</p>	<p>イ) 行政の役割 (市・県・国がやるべきこと)</p> <p>◇市…危機管理意識の向上に向けた啓発を行う。住宅用火災警報器設置の促進を行う。住宅用火災警報器の普及啓発を推進する。</p> <p>◇救急医療体制づくり、施設整備、地域が行なう防犯、交通安全活動への支援を行う。</p> <p>◇国・県…交通安全対策、犯罪の取り締まり、交通規制、施設整備を行う。</p>
--	--

(5)環境変化 (対象者や根拠法令等は5年前と比べてどう変わったのか?)

◇救急車の出動件数が5年前と比べて増加。◇AED(除細動器)の設置が進んだ。◇住宅用火災警報器の義務化から数年が経過していることから、機器の作動確認や本体の交換を推進する必要がある。◇薬剤投与や気管内挿管が救急搬送時に行えるようになった。◇飲酒運転の罰則強化やシートベルトの着用義務の拡充に伴い、全国的に交通事故は減少傾向にある。一方で、高齢者の事故割合が増加している。◇石和温泉駅前、春日居町駅前に防犯カメラが設置された。◇暴力団発砲事件を受けて石和町内主要交差点等13地点に防犯カメラを増設◇H25年度、地域医療救護体制整備事業を活用し、災害時の医療救護に使用する物品の整備等を行った。◇石和温泉駅前交番設置について具体的な協議が進んでいる。

(6)関係者の意見・要望 (住民、議会、対象者、利害関係者等)

◇議会・警察…犯罪抑止のため防犯カメラの設置の要望がある。空き家対策についての要望がある。
◇消防団…団員確保が難しいため市の支援が欲しいとの要望がある。
◇市民…歩道を整備して欲しいとの要望がある。
◇県…ドクターヘリポート整備に関する協議があった。
◇行政区…防犯灯のLED化への要望がある。(H28年度から設置に対する補助金制度を開始)

2. H28年度の施策の実績 Check

(1)施策の成果実績

Table with 2 columns: Evaluation/Comparison criteria and Background/Context. Includes sections for target achievement, time series comparison, and comparison with other municipalities.

(2)施策のコスト実績 (対象1単位当たり又は住民一人当たりのコスト)

Table showing cost performance for 'Number of fire trucks' with columns for 26th, 27th, and 28th years, and efficiency evaluation.

(3)施策の現状と課題の総括

◇行政区管理の防犯灯について、CO2排出量の削減、電気料の節減等を目的にLED照明器への更新を進めるため笛吹市LED防犯灯交換費補助金交付事業を開始した。◇高齢者等の交通事故を未然に防止するため、自主的に免許証を返納された方にタクシー利用券の交付を行う運転免許証自主返納支援事業を開始した。◇消防・防災・救急医療体制が整って、安心して暮らすことができるようにするため、消防施設の整備を進めている。

3.後期基本計画の取り組み方針(30年度) Action

(1)現状と課題から導き出した次年度の取り組み方針

◇行政区管理の防犯灯のLED化のため各行政区に理解を求めこの事業によりLED照明器への更新を進める。◇事業の周知に努め自主的に運転免許証を返納された方にタクシー利用券を交付する。◇平成27年度に実施した「消防出張所適正配置調査」の結果にも基づき、平成29年度中に一宮町及び境川町地内に出張所を建設し、平成30年度からは現3出張所を廃止、新設した2出張所体制に切り替える。

(2)施策の対象を、目標に導くための次年度の手段

◇運転免許証自主返納支援事業および笛吹市LED防犯灯交換費補助金交付事業の周知及び事業について理解していただくよう努め安心して暮らせる仕組みを整える。◇平成29年度中に建設し、平成30年2月の工事完成を目指す。平成30年度からは、新出張所において業務を行なう。◇研修等を通じてスキルアップを図り、職員個々の資質を向上させる。また、各種訓練を定期的実施し、隊員相互の連携を密にし、効率的な消防活動を円滑に行えるようにし、災害による被害を最小限にとどめるとともに、適切な傷病者搬送を遂行する。